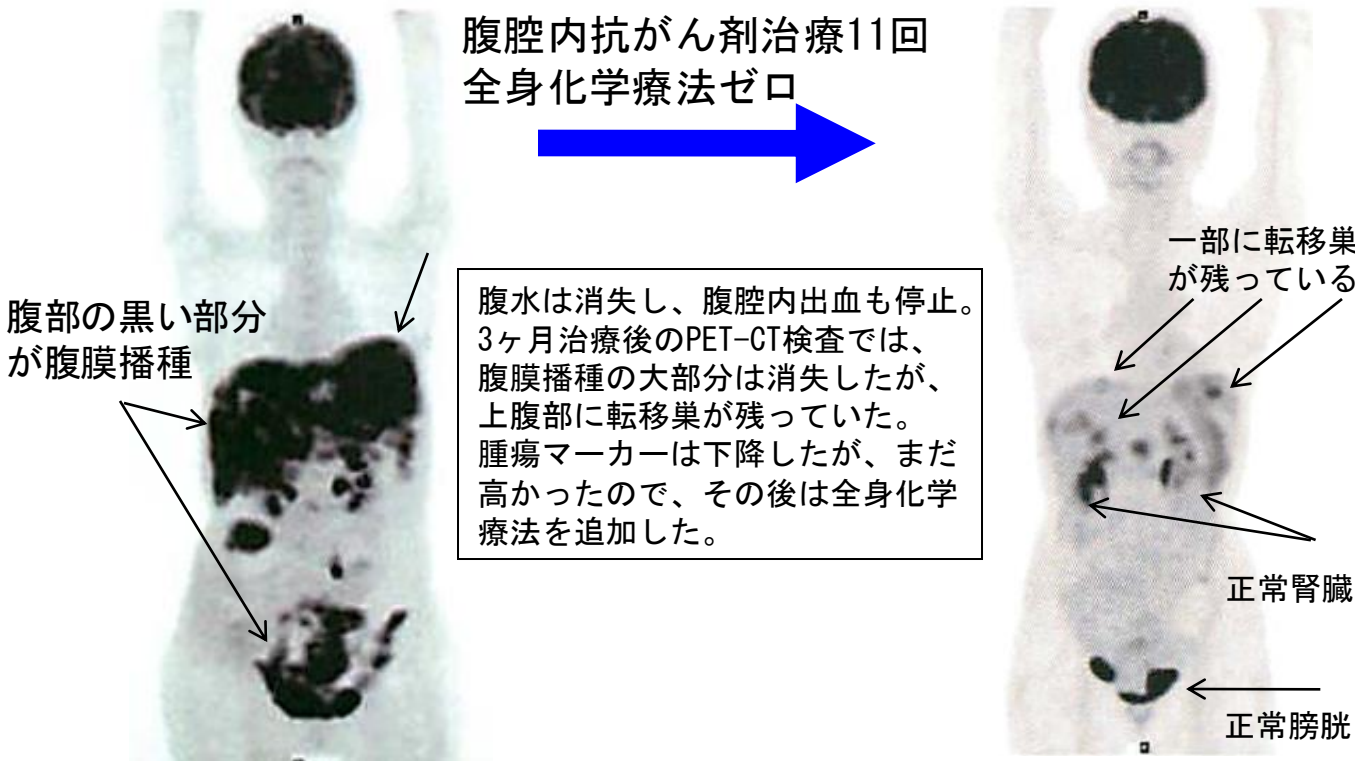


50歳代の漿液性卵巣癌術後再発患者。市民病院で複数の標準化学療法を受けたが効果無く、緩和医療を勧められていた。当院初診時、大量腹水で腹部膨満状態。治療前に9200 mlの出血性癌性腹水を穿刺した。
CA125=7274。

腹腔内治療3回後のPET-CT
肝臓周囲および骨盤腔に
広範囲の腹膜播種有り

治療3ヶ月後のPET-CT
腹膜播種が劇的に縮小
CA125=300



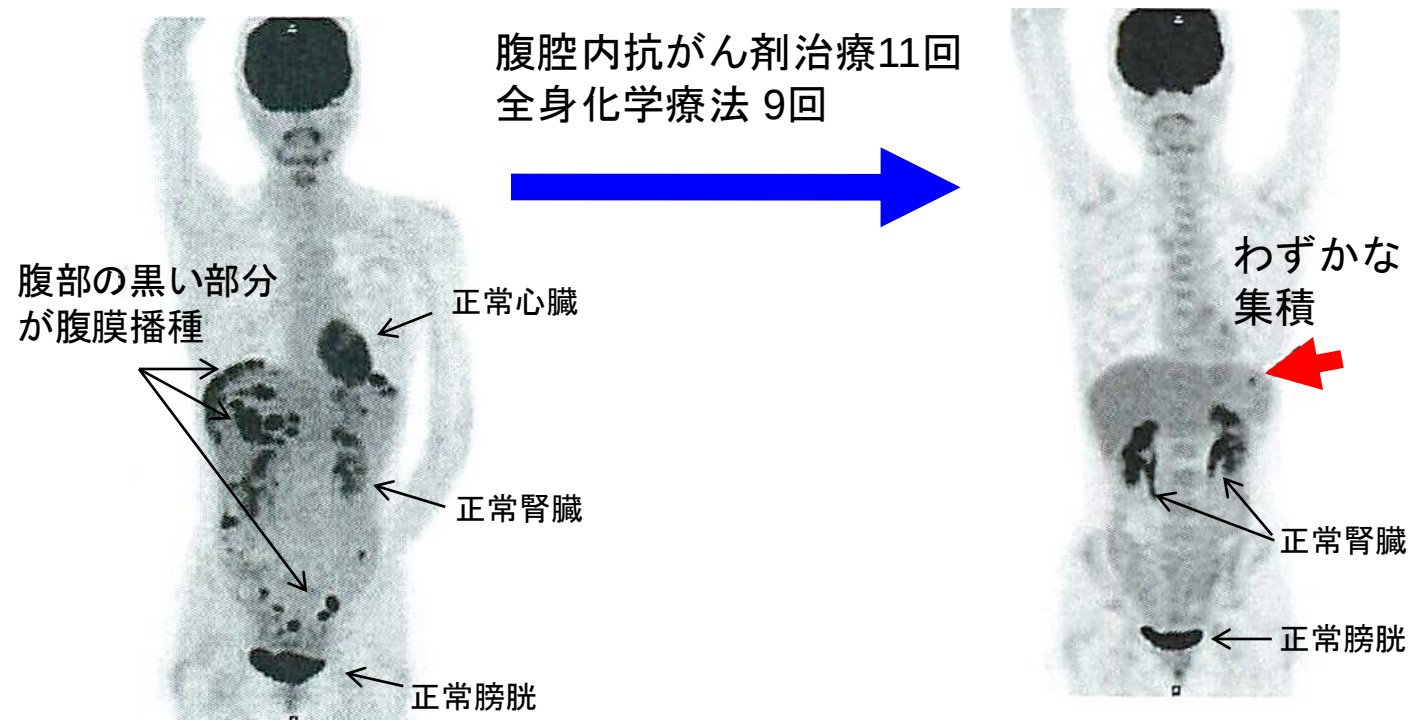
使用薬剤	以前より人体への腹腔内投与の安全性が確認されている抗癌剤を（主にタキサン系抗癌剤、白金系抗癌剤など）、患者の当日の病状に応じて、抗癌剤の種類と投与量を決めています。
頻度	7-28日毎(症状により治療間隔に変動あり)
副作用	抗癌剤に対するアレルギー症状（皮疹、胸痛、発汗、吐き気、嘔吐など） 骨髄抑制（各種血球の減少に伴う易感染性、貧血、血小板減少による出血傾向） 手足の痺れ、関節や筋肉の痛み、下痢、便秘、脱毛、間質性肺炎、口内炎、腎機能障害 聴力障害、肝機能障害、吃逆など ※全身化学療法に比べ投与量が少量のため副作用が起こる確率は低いものの、上記抗がん剤に伴う副作用が出現することがあります。 ※全身抗がん剤治療とは異なる、腹腔内抗がん剤治療に起こりやすい特徴的副作用として、腹部不快感、軽度腹痛、便秘、下痢などが出現することがありますが、一過性で軽症です。治療が必要になるような中等度以上の副作用は極めて稀です
医薬品医療機器等法上の承認について	上記薬剤は国内において静脈投与に限り、医薬品医療機器等法に基づく承認を受けています。しかし、その他の投与方法では、現時点では承認されていません。
諸外国における安全性	諸外国でも静脈投与において承認されていますが、経口投与や皮下投与における安全性についての十分なデータは得られていません。特に、欧米においても同様に、静脈投与以外での使用に関する臨床データや有効性に関する報告は限られています。これらの投与方法に関しては、未承認の状態が続いており、安全性が確立されていないため、使用には十分な注意が必要です。
治療費用	腹腔内抗がん剤治療11回（※1回あたりの抗がん剤治療の費用は96000円）

腹腔内抗癌剤治療は腹膜播種病変の制御には有効ですが、全身に広がっている癌に対しては大きな効果は期待できません。腹腔内抗癌剤治療以外の治療も必要と考えられる患者さんには、患者さんの癌の分布に最適と思われる治療を、当院と治療連携している腫瘍内科医、外科医、脳外科医、泌尿器科医、婦人科医、放射線治療医など各分野の専門医に相談・紹介して、個々の患者さんにとって、その時その時にベストと思われる連携治療を推薦させていただいております。

40歳代の卵巣明細胞癌術後再発患者。標準化学療法では効果が認められず、有効な治療法が見つからないと主治医から宣告され、当院を受診（一般的に、卵巣明細胞癌に高率に有効な標準抗癌剤治療は極めて少ないと考えられている）。

治療開始前のPET-CT。肝臓周囲および骨盤底に広範囲の腹膜播種あり。腹腔ポート造設術（開腹）時には、腹腔内に無数の腹膜播種有り。
CA125=316。

治療18ヶ月後のPET-CT。左横隔膜下にわずかな集積のみ（矢印）。**CA125=14.3**



※全身化学療法は他院で施行いただいております

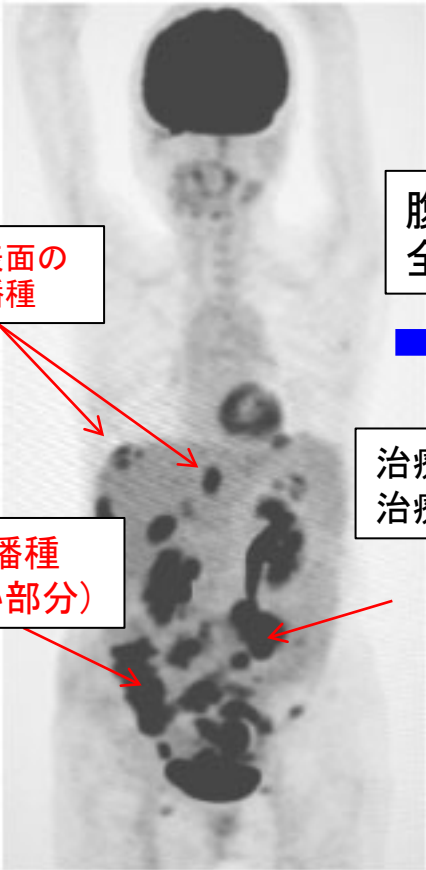
使用薬剤	以前より人体への腹腔内投与の安全性が確認されている抗癌剤を（主にタキサン系抗癌剤、白金系抗癌剤など）、患者の当日の病状に応じて、抗癌剤の種類と投与量を決めています。
頻度	7-28日毎(症状により治療間隔に変動あり)
副作用	抗がん剤に対するアレルギー症状（皮疹、胸痛、発汗、吐き気、嘔吐など） 骨髄抑制（各種血球の減少に伴う易感染性、貧血、血小板減少による出血傾向） 手足の痺れ、関節や筋肉の痛み、下痢、便秘、脱毛、間質性肺炎、口内炎、腎機能障害 聴力障害、肝機能障害、吃逆など ※全身化学療法に比べ投与量が少量のため副作用が起こる確率は低いものの、上記抗がん剤に伴う副作用が出現することがあります。 ※全身抗がん剤治療とは異なる、腹腔内抗がん剤治療に起こりやすい特徴的副作用として、腹部不快感、軽度腹痛、便秘、下痢などが出現することがありますが、一過性で軽症です。治療が必要となるような中等度以上の副作用は極めて稀です
医薬品医療機器等法上の承認について	上記薬剤は国内において静脈投与に限り、医薬品医療機器等法に基づく承認を受けています。 しかし、その他の投与方法では、現時点では承認されていません。
諸外国における安全性	諸外国でも静脈投与において承認されていますが、経口投与や皮下投与における安全性についての十分なデータは得られていません。 特に、欧米においても同様に、静脈投与以外での使用に関する臨床データや有効性に関する報告は限られています。これらの投与方法に関しては、未承認の状態が続いており、安全性が確立されていないため、使用には十分な注意が必要です。
治療費用	腹腔内抗がん剤治療11回（※1回あたりの抗がん剤治療の費用は96000円）

腹腔内抗癌剤治療は腹膜播種病変の制御には有効ですが、全身に広がっている癌に対しては大きな効果は期待できません。腹腔内抗癌剤治療以外の治療も必要と考えられる患者さんには、患者さんの癌の分布に最適と思われる治療を、当院と治療連携している腫瘍内科医、外科医、脳外科医、泌尿器科医、婦人科医、放射線治療医など各分野の専門医に相談・紹介して、個々の患者さんにとって、その時その時にベストと思われる連携治療を推薦させていただいております。

50歳代, 女性 卵巣癌術後再々発患者。他院にて各種標準化学療法を受けたものの効果に乏しく、大量癌性腹水貯留で食事摂取も困難となっていた。

腹水6800ml 穿刺後にPET-CT検査を受けた。腹腔内全体に大きな腹膜播種が広がっていた。CA125=1809。

12ヶ月後のPET-CT。腹膜播種はほぼ完全に消失。CA125=6。

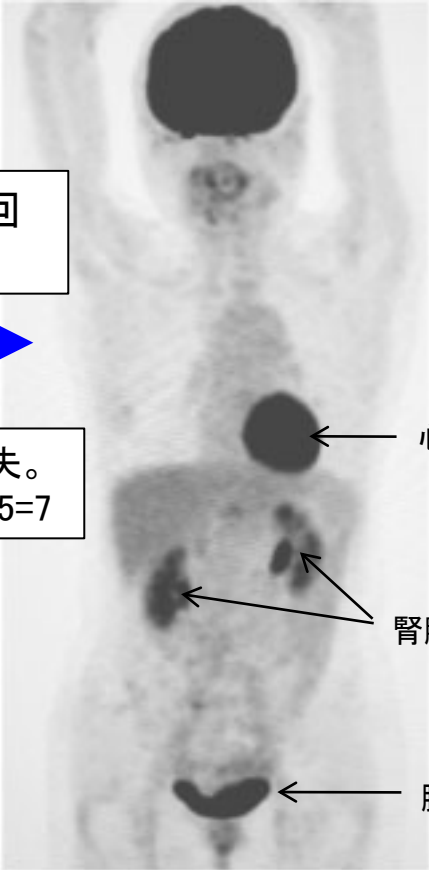


肝臓表面の
腹膜播種

腹膜播種
(黒い部分)

腹腔内抗癌剤治療22回
全身化学療法5回

治療開始2ヶ月後に腹水消失。
治療開始7ヶ月後にはCA125=7



心臓

腎臓

膀胱

※全身化学療法は他院で施行いただいております

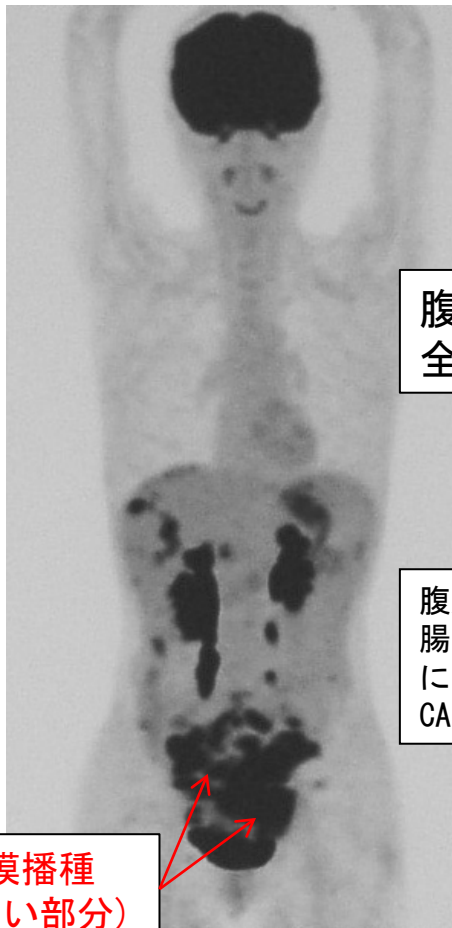
使用薬剤	以前より人体への腹腔内投与の安全性が確認されている抗癌剤を（主にタキサン系抗癌剤、白金系抗癌剤など）、患者の当日の病状に応じて、抗癌剤の種類と投与量を決めています。
頻度	7-28日毎(症状により治療間隔に変動あり)
副作用	抗がん剤に対するアレルギー症状（皮疹、胸痛、発汗、吐き気、嘔吐など） 骨髄抑制（各種血球の減少に伴う易感染性、貧血、血小板減少による出血傾向） 手足の痺れ、関節や筋肉の痛み、下痢、便秘、脱毛、間質性肺炎、口内炎、腎機能障害 聴力障害、肝機能障害、吃逆など ※全身化学療法に比べ投与量が少量のため副作用が起こる確率は低いものの、上記抗がん剤に伴う副作用が出現することがあります。 ※全身抗がん剤治療とは異なる、腹腔内抗がん剤治療に起こりやすい特徴的副作用として、腹部不快感、軽度腹痛、便秘、下痢などが出現することがありますが、一過性で軽症です。治療が必要になるような中等度以上の副作用は極めて稀です
医薬品医療機器等法上の承認について	上記薬剤は国内において静脈投与に限り、医薬品医療機器等法に基づき承認を受けています。 しかし、その他の投与方法では、現時点では承認されていません。
諸外国における安全性	諸外国でも静脈投与において承認されていますが、経口投与や皮下投与における安全性についての十分なデータは得られていません。 特に、欧米においても同様に、静脈投与以外での使用に関する臨床データや有効性に関する報告は限られています。これらの投与方法に関しては、未承認の状態が続いており、安全性が確立されていないため、使用には十分な注意が必要です。
治療費用	腹腔内抗がん剤治療22回(※1回あたりの抗がん剤治療の費用は96000円)

腹腔内抗癌剤治療は腹膜播種病変の制御には有効ですが、全身に広がっている癌に対しては大きな効果は期待できません。腹腔内抗癌剤治療以外の治療も必要と考えられる患者さんには、患者さんの癌の分布に最適と思われる治療を、当院と治療連携している腫瘍内科医、外科医、脳外科医、泌尿器科医、婦人科医、放射線治療医など各分野の専門医に相談・紹介して、個々の患者さんにとって、その時その時にベストと思われる連携治療を推薦させていただいております。

30歳代女性の卵巣癌。外科術後5年間にわたり、各種抗癌剤治療を受けてきたが効果に乏しく、腹膜播種が広がり、腸閉塞症状も出現した。食事摂取も困難になり、当院を受診。

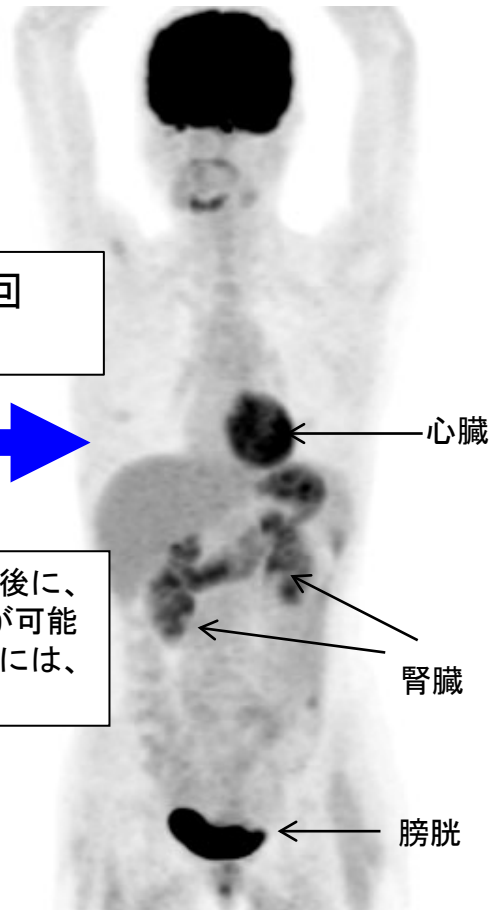
治療開始前のPET-CT。下腹部を中心に大きな腹膜播種が広がっていた。CA125=2761。

治療7ヶ月後のPET-CT。CA125=6。明らかな癌病巣は認めない（完全寛解）



腹腔内抗癌剤治療15回
全身化学療法10回

腹腔内抗癌剤治療開始1ヶ月後に、
腸閉塞症状は改善し、食事が可能
になった。治療開始5ヶ月後には、
CA125は7未満になった。



※健常な方でも脳、心、腎、膀胱には集積が見られます

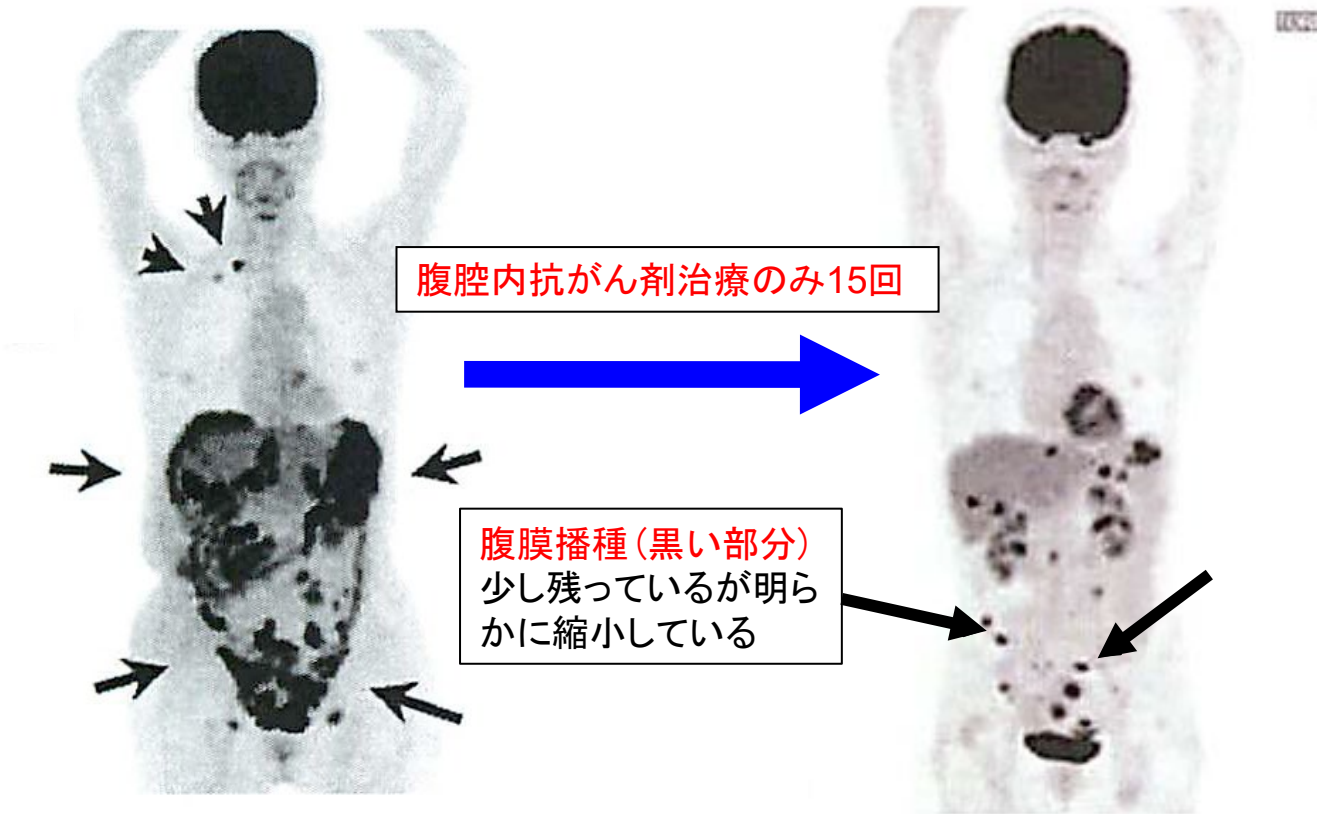
使用薬剤	以前より人体への腹腔内投与の安全性が確認されている抗癌剤を（主にタキサン系抗癌剤、白金系抗癌剤など）、患者の当日の病状に応じて、抗癌剤の種類と投与量を決めています。
頻度	7-28日毎（症状により治療間隔に変動あり）
副作用	抗がん剤に対するアレルギー症状（皮疹、胸痛、発汗、吐き気、嘔吐など） 骨髄抑制（各種血球の減少に伴う易感染性、貧血、血小板減少による出血傾向） 手足の痺れ、関節や筋肉の痛み、下痢、便秘、脱毛、間質性肺炎、口内炎、腎機能障害 聴力障害、肝機能障害、吃逆など ※全身化学療法に比べ投与量が少量のため副作用が起こる確率は低いものの、上記抗がん剤に伴う副作用が出現することがあります。 ※全身抗がん剤治療とは異なる、腹腔内抗がん剤治療に起こりやすい特徴的副作用として、腹部不快感、軽度腹痛、便秘、下痢などが出現することがありますが、一過性で軽症です。治療が必要になるような中等度以上の副作用は極めて稀です
医薬品医療機器等法上の承認について	上記薬剤は国内において静脈投与に限り、医薬品医療機器等法に基づく承認を受けています。 しかし、その他の投与方法では、現時点では承認されておりません。
諸外国における安全性	諸外国でも静脈投与において承認されていますが、経口投与や皮下投与における安全性についての十分なデータは得られていません。 特に、欧米においても同様に、静脈投与以外での使用に関する臨床データや有効性に関する報告は限られています。これらの投与方法に関しては、未承認の状態が続いており、安全性が確立されていないため、使用には十分な注意が必要です。
治療費用	腹腔内抗がん剤治療15回（※1回あたりの抗がん剤治療の費用は96000円）

腹腔内抗癌剤治療は腹膜播種病変の制御には有効ですが、全身に広がっている癌に対しては大きな効果は期待できません。腹腔内抗癌剤治療以外の治療も必要と考えられる患者さんには、患者さんの癌の分布に最適と思われる治療を、当院と治療連携している腫瘍内科医、外科医、脳外科医、泌尿器科医、婦人科医、放射線治療医など各分野の専門医に相談・紹介して、個々の患者さんにとって、その時その時にベストと思われる連携治療を推薦させていただいております。

50歳代の卵巣癌術後再発患者. 各種標準治療を受けてきたが, 有効抗癌剤が無くなり当院を受診. **腹水1400ml, 癌細胞陽性。**

治療開始時のPET-CT
腹腔内全体に腹膜播種あり.
右鎖骨下リンパ節転移,両側そけい部
リンパ節転移
CA125=304

治療7ヶ月後のPET-CT
腹膜播種は明らかに縮小減少.
右鎖骨下リンパ節転移および両側そけい
リンパ節転移は明らかに縮小消失。
腹水消失CA125=12.6



※健常な方でも脳、心、腎、膀胱には集積が見られます

使用薬剤	以前より人体への腹腔内投与の安全性が確認されている抗癌剤を（主にタキサン系抗癌剤、白金系抗癌剤など）、患者の当日の病状に応じて、抗癌剤の種類と投与量を決めています。
頻度	7-28日毎(症状により治療間隔に変動あり)
副作用	抗癌剤に対するアレルギー症状（皮疹、胸痛、発汗、吐き気、嘔吐など） 骨髄抑制（各種血球の減少に伴う易感染性、貧血、血小板減少による出血傾向） 手足の痺れ、関節や筋肉の痛み、下痢、便秘、脱毛、間質性肺炎、口内炎、腎機能障害 聴力障害、肝機能障害、吃逆など ※全身化学療法に比べ投与量が少量のため副作用が起こる確率は低いものの、上記抗癌剤に伴う副作用が出現することがあります。 ※全身抗癌剤治療とは異なる、腹腔内抗癌剤治療に起こりやすい特徴的副作用として、腹部不快感、軽度腹痛、便秘、下痢などが出現することがありますが、一過性で軽症です。治療が必要になるような中等度以上の副作用は極めて稀です
医薬品医療機器等法上の承認について	上記薬剤は国内において静脈投与に限り、医薬品医療機器等法に基づく承認を受けています。 しかし、その他の投与方法では、現時点では承認されていません。
諸外国における安全性	諸外国でも静脈投与において承認されていますが、経口投与や皮下投与における安全性についての十分なデータは得られていません。 特に、欧米においても同様に、静脈投与以外での使用に関する臨床データや有効性に関する報告は限られています。これらの投与方法に関しては、未承認の状態が続いており、安全性が確立されていないため、使用には十分な注意が必要です。
治療費用	腹腔内抗癌剤治療15回(※1回あたりの抗癌剤治療の費用は96000円)

腹腔内抗癌剤治療は腹膜播種病変の制御には有効ですが、全身に広がっている癌に対しては大きな効果は期待できません。腹腔内抗癌剤治療以外の治療も必要と考えられる患者さんには、患者さんの癌の分布に最適と思われる治療を、当院と治療連携している腫瘍内科医、外科医、脳外科医、泌尿器科医、婦人科医、放射線治療医など各分野の専門医に相談・紹介して、個々の患者さんにとって、その時その時にベストと思われる連携治療を推薦させていただいております。